

2024年度 福井厚生病院における看護職員負担軽減計画

	現 状	目 標	対 策		目標達成年次
外来	1 新棟移転後、平日・土曜日の午前は検査課で採血を実施しているが、土曜日の午後の採血は看護師が実施している。	採血業務の役割分担	検査課の勤務時間内は採血を検査課で実施する ※時間外はほぼドライケムでの検査実施のため、検査課が呼び出されることは少ない	臨床検査技師	令和6年度
	2 外来内に看板等はあるが、受診者は高齢者が多く、検査の案内が必要となる。複数の診察場の介助についている看護師・看護補助者が患者の案内を行い、場所を離れる事で、次の患者の検査説明や、案内に待ち時間が生じている。	患者の待ち時間なく、円滑に外来受診ができる	検査の案内は、医事課窓口と協力して実施する	医事課窓口	令和6年度
病棟	1 薬剤師の専門性・協力が必要となる業務(薬剤定数確認・内服セット・内服切れ・内服に関する医師への問い合わせの仲介・外来の内服副作用説明・薬品、内服搬送等)が多岐にわたり、看護師の負担が大きい。また、これらの業務負担が時間外にも繋がっている。	薬剤関連業務での看護師負担が軽減し、時間外が減少する	コストに繋がらない業務であっても、薬剤師の専門性が必要である業務は薬剤師が実施する。	薬剤師	令和6年度
	2 予約入院は、他職種も事前に入院診療計画書の入力が出来ているが、当日入院は、入院後に看護師が他職種に電話やメールで入院診療計画書の入力を依頼している。そのため、家人の滞在中に、入院診療計画書が完成せず、本人、家人への説明・同意・回収が出来ていない。	入院日に入院診療計画書の説明・同意・回収ができる	看護師が他職種に電話やメールをするのではなく、効率的に入力が実施できる方法を他職種と考える	薬剤師 管理栄養士 リハビリ職員 MSW	令和6年度
	3 スタッフコール・電話・面会者対応は他職種で対応することになっているが、現状は殆どが看護師が対応している。その度に、実施している業務を中断してしまう。また、看護師が対応できない場合は、スタッフコール・電話が鳴り続けていることもある。	スタッフコール・電話・面会者対応が他職種で素早く対応できる。(安全・満足度の向上にも繋がる)	業務改善委員会・各部会で周知する。	薬剤師 管理栄養士 リハビリ職員 MSW	令和6年度
共通	1 院内託児所が土曜日及び祝日のみの開所では復帰後勤務に支障があり、子育て中の勤務環境に改善の余地がある	子育て中の看護職員に対する配慮	看護師が、子育てしながら勤務しやすい環境を整える	保育士・事務	実施済み (令和6年度も継続)